

Reef

Emerson Matsuuchi 作

内容物

サンゴ 28個×4色（橙、緑、紫、黄）=112個

カード 60枚

プレイヤーボード 4枚。（1枚はヒトデが左端に描かれています）

VP（勝利点）トークン 88個（1VP×44、3VP×10、5VP×15、10VP×15、20VP×4）

ゲームの目的

サンゴを自分のボードに上手に配置して、それに応じた VP（勝利点）を獲得します。ゲーム終了時にもっとも VP を持っているプレイヤーの勝利です。

ゲームの準備



1. サンゴをプレイする人数に合わせた数を用意する。使わなかったサンゴは箱に戻す。（2人：各色 18個、3人：各色 24個、4人：各色 28個を使用する。）
2. 60枚のカードをよくシャッフルして、各プレイヤーに2枚ずつ裏向きで配る。これが各プレイヤーの手札となる。各プレイヤーに1VP トークンを3つずつ配る。
3. プレイヤー数だけプレイヤーボードを用意する。この時、必ずヒトデが描かれたボードを含めること。そのプレイヤーボードをランダムで配る。ヒトデが描かれているボードのプレイヤーがスタートプレイヤーとなる。

（図の F 参照）

4. 各プレイヤーは各色のサンゴを1つずつ合計4つをサプライから取り、自分のボードの中央の4つの枠にランダムで並べる。（図の G と H を参照）
5. 各プレイヤーはボードの横に捨てるスペースを用意すること。
6. 残ったカードの山を裏向きにして、上から3枚を山札の横に表に向けて置きます。この3枚を「ディスプレイ」と呼びます。また、山札の一番上のカードも表に向けて置きます。

ゲーム開始

ゲームはスタートプレイヤーから時計回りにプレイします。手番プレイヤーは、

「カードを手札に加える」、または「カードを手札からプレイする」のどちらかのアクションを行うことができます。

「カードを手札に加える」

1. ディスプレイから1枚カードを選んで手札
ます。(右図)

その時にその選んだカードの上に VP トー
クンがあればそれも自分の VP トークンとして獲
得。その後、山札の一番上のカードをその
場所に移し、新しい山札の一番上のカードを表にします。



に加え
クンが
得しま
開いた

2. 山札の一番上のカードを手札に加えると
ディスプレイのカードのうち一番 VP が小
さいカードの上に VP トークンを自分の VP ト
ークンから置きます。(右図) VP が一番小さ
いカードが複数あるときは、そのうちど
れか1枚を選んでください。その後、新しい山
札の一番上のカードを表にします。



きは、デ
さいカ
ークン
い数値
れか1
札の一

3. 手札の枚数は最大4枚までです。すでに手札が4枚あるときは、この「カードを手札に加える」アクションを行うことができません。「カードを手札からプレイする」のアクションを行ってください。

「カードを手札からプレイする」

1. 手札からカードを1枚選びプレイします。プレイしたカードに書かれているサンゴのコマ(1枚のカードに2個のサンゴのコマが書かれています)をサプライから受け取ります。サプライに指定された十分なサンゴのコマがない場合でも可能な限り受け取ります。
2. 受け取ったサンゴのコマを自分のプレイヤーボードに置きます。積み重ねることも可能です。
3. サンゴのコマの積み重ねは4段まで出来ます。(右図)
4. プレイしたカードを自分の捨て札置き場に表で置きます。

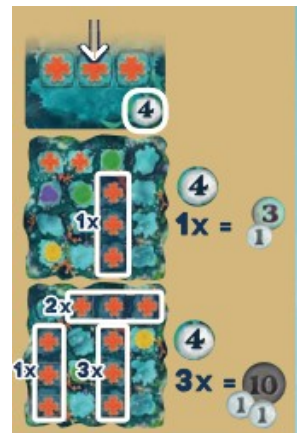


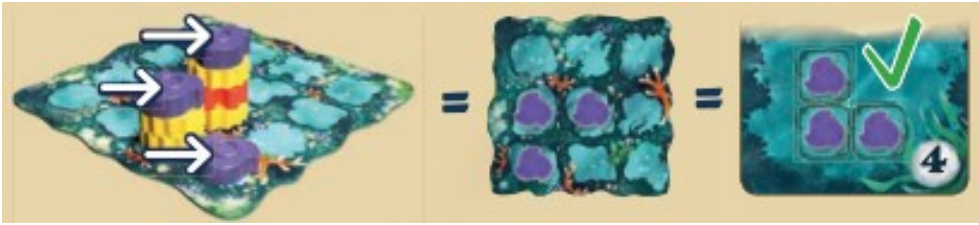
スコア獲得

手札からカードをプレイした場合、VP を得ることがあります。カードには得点パターンが書かれています。右図の例の場合、赤いサンゴが3つ並べば4点のVP を得るを表しています。

カードの方向を変えてパターンを探しても問題ありません。先の例の「赤いサンゴが3つ」の場合、縦に3つ並んでもVP を得ることが出来ます。(右図の中段の例)

また、複数のパターンを見つけることが出来れば、それぞれでVP を得ます。右図の下段の例では、4VP×3パターンで12VP を得ることになります。





なお、参照するサンゴのコマは一番上のコマのみです。上の図の例では一番上のコマは紫ですので、カードの得点条件に満たしているパターンですので、4VP を得ます。



左図の「+2」は2段目以上のコマが得点対象となります。

「レ」の場所は2段目でカードの条件に合致しているため、5VP を得ることができますが、「×」の場所は1段目なのでVP を得ることはありません。



左図の4色サンゴに書かれた数字は、その高さの場所を参照します。色は関係ありません。

左の図では数字は3ですので、3段まで積まれた場所を参照しますので、3箇所あります。なので、この場合は $2VP \times 3 = 6VP$ となります。



VP を得るために参照するサンゴは重複しては参照してはいけません。左の図の場合は最大2箇所しか参照できません。ですので $4VP \times 2 = 8VP$ となります。



特殊なパターンを示す8枚のカードがあります。それらはすべて色の組み合わせが異なりますが、解決方法は基本的に同じです。

「+」の色のサンゴが一番上にある場所を自分のプレイボードの中から探します。複数ある場合は一番高く積み上げられている場所を選びます。

例えば、左図のパターンは、矢印の黄のサンゴは参照して隣接する一番上に紫のサンゴがある3箇所ありますので、 $2VP \times 3 = 6VP$ を獲得することを意味します。（左上隅の黄のサンゴを参照すると紫のサンゴは2箇所しかないため、矢印の黄のサンゴを参照するのがお得です。）

ゲームの終了

1. どれかの色のサンゴが無くなったら、そのプレイヤーの手番でゲームを終了します。
2. 山札が無くなった場合も、ゲームを終了します。
3. 手札が残っているプレイヤーは、そのカードに関して VP を獲得する事が出来ます。ただし、カードに書かれているサンゴを得ることは出来ません。
4. ただし、カードに描かれている VP 獲得のためのパターンが複数個あったとしても、1 回だけカウントします。（通常ゲームのように複数回カウントしません）
5. 一番 VP を獲得したプレイヤーの勝利です。
6. 同点の場合はプレイヤーボードで空白の枠が少ないプレイヤーの勝利です。
7. それでも決着がつかない場合はサンゴを 4 段目まで積んだ枠が多いプレイヤーが勝利です。
8. それでも決着がつかない場合は引き分けです。

注意

最後のラウンドでは、十分な量がないサンゴを採取しなければならない場合は、できるだけ多くのもを採取して通常通りに手番を続けます。

いつでも、あなたの VP トークンとサプライ間で両替できます。

自分の獲得している VP 獲得点数は秘匿情報です。

VP トークンは無制限あるとこととして処理します。サプライの VP トークンが不足した場合は手元にあるものを代用品として使用してください。

もし、プレイヤー全員がこのゲームの経験者であるならば、ゲーム開始時のサンゴの初期配置を、プレイヤーの好みでどの枠に設置しても、積み上げた状態でゲームを開始しても構いません。

2018/12/06 Masayuki Kunimitsu 訳